

科目の内容（シラバス）

②授業科目名	③必修／選択の別	④単位数	⑤含む必須の教育内容番号	⑥担当教員名	⑦実施形態
日本語文化論研究	必修	2	5・8・9・10・11・37・38・46・47・48	小川 俊輔	対面
⑧授業のテーマ及び到達目標	【授業の目標】 ①各時代の日本語の特性・機能・しくみについての基礎知識を得る。 ②現代日本語の多様性についての認識を深める。 ③日本語の歴史的変遷過程についての認識を深める。 ④歴史的視点から物事を見つめ、対処する態度・姿勢を身につける。 ⑤自らのことばを豊かにしようとする姿勢・態度を身につける。 ⑥常識を疑い、常に新鮮な視点で物事を見つめ、対処する態度・姿勢を身につける。 【知識・技能の観点】 主に日本語を中心とした言語の構造・意味・機能などについて十分な知識を有している。 【思考力・判断力・表現力の観点】 日本語に関する様々な言語現象について先行研究の成果と課題を踏まえ、適切に調査を行い、実体を記述し、論理的に考察し、学術的レポートとして報告することができる。 【主体性・協働性の観点】 日本語に関する様々な言語現象に高い関心を示し、他の学生と協働的に学習することができる。				
⑨授業の概要	現代日本語のしくみ・多様性について、具体的な事例に基づいて教授する。2年次第2Q配当科目「日本語文化論（日本語学）」と同様に、「日本語文化論」系科目の基礎科目として、現代日本語の文法、文章と文体、文字と表記、敬語、地域方言について、幅広く取り扱う。その際、社会言語学的な位相差や言語政策についても触れ、多言語と比較・対照の視点を持つ。				
⑩授業計画					
授業回等	各回の授業内容				各回に含む必須の教育内容番号
1	ガイダンス、現代日本語の文法①活用（学校文法と日本語教育文法）				5・8・9・37・38
2	現代日本語の文法②ら抜き言葉、アスペクト、テンス				5・8・9・37・38
3	現代日本語の文法③品詞				5・8・9・37・38
4	現代日本語の文章と文体①指示詞、接続詞、文章・談話				5・8・9・10・37・38
5	現代日本語の文章と文体②談話におけるコミュニケーションの機能、構造、文体 現代日本語の文字と表記①導入				5・8・9・10・37・38
6	現代日本語の文字と表記②漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字、訓令式とヘボン式				5・8・9・37・38
7	現代日本語の文字と表記③記号、日本語表記の特徴、漢字を読む・書く				5・8・9・37・38
8	現代日本語の文字と表記④常用漢字、仮名で書く				5・8・9・37・38
9	現代日本語の敬語①敬語の定義、ことばの切替え、敬語の分類、敬語の変化				5・8・9・10・11・37・38・48
10	現代日本語の敬語②バイト敬語・マニュアル敬語、敬語の地域差				5・8・9・10・37・38・48
11	現代日本語の敬語③お・ごのつく外来語、敬語とコミュニケーション				5・8・9・10・37・38・48
12	社会言語学				5・8・9・37・38
13	現代日本語の方言				5・8・9・37・38
14	期末レポート発表会①（出店形式、全員発表）				5・8・9・37・38・46・47
15	期末レポート発表会②（優秀レポート執筆者によるPPTを用いたプレゼンテーション）、授業内容のまとめ				5・8・9・37・38・46・47
⑪使用テキスト	プリントを配布する				
⑫参考書・参考資料等	文部科学省『中学校学習指導要領』、同『中学校学習指導要領解説 国語編』、同『高等学校学習指導要領』、同『高等学校学習指導要領解説 国語編』の他は授業中に紹介する。				
⑬同時双方向性の確保 （通信で実施する科目のみ）					
⑭学修課程の管理方法 （通信で実施する科目のみ）					
⑮学生等に対する評価 （評価基準・評価方法等）	毎回の課題（授業コメント）30%、期末レポート（3000字）70%				